

各国森林・環境概況

各国の森林・環境と文化

日時：平成23年9月3日（土） 10:00～15:00

講師：田中 広樹（あいち海上の森大学コーディネーター）

概況



◎各国の森林・環境と文化

受講者8名がこれまでに経験した環境活動の紹介や、環境・林業に関する考えを発表。

1. 大坪 和雄

水資源開発の業務として、様々な国（イラン、エジプト等）に行った際の様子と業務内容の紹介。

→今後も積極的にボランティアとして関わっていきたい。

2. 倉橋 智

「日本林業はよみがえる」を読んで森林や林業に興味を持ち、大阪では家族で間伐に参加。愛知に来てからはNPO法人「穂の国森づくりの会」に入会。これからは東三河の森林の整備に関係する事をしたい。そのために、森林に関する基礎的な勉強を継続したい。

3. 佐治 真紀

・私の夢見る10年後のAICHI

森林とは無縁の生活をしていたが、子供ができた事で社会や自然といった分野に興味を持った。子供達が社会に出るときにより環境が保全されている社会であって欲しい。人生の軸として、仕事と生活、趣味、ボランティアの4つをそれぞれバランス

を取って歩んでいきたい。森林に滞在する形の森林ボランティアを行えないだろうか。

4. 福田 澄夫

・特定非営利活動法人 海上の森の会の紹介

海上の森の会は、海上の森の保全と里山の再生を目標とする。2009年にNPO法人化。自然環境調査、森づくり、里づくりなどの12のグループがあり、それぞれ活動を行っている。

5. 若井 宗臣

・私の環境教育は、?啄同時

環境に関する教育・啓発活動の紹介。環境問題は個人の感性に委ねられる部分が多い。そのため、幼児、児童の教育が重要であるだろう。

6. 劉 鋭

・中国の森林・環境概況

中国の国土に対する森林面積の割合は20.36%。砂漠化や飛散する黄砂が深刻な問題であり、国策で植林などの森林を保護する活動を行っている。自分の住んでいた大連では、3月12日には市民参加による植林を行っている。

7. 井藤 恵美子

3年かけて森林インストラクターの資格を取得。今春、日本山岳会の記念事業、チベットの聖なる山カイラスの巡礼に行き、どのような土地でも人は住み、水があれば生態系が存在していることを感じた。

8. 堀 妙子

・自然の中をよ〜く観ると

NPO法人 親水会の活動の紹介。森の学舎インタープリターの活動もしている。自然の中で、見えるものを通して、見えないものを伝えていきたい。

それぞれの発表を基に、これからのボランティア活動や林業のあり方についての意見交換を行った。